

## 台湾交流研修に行ってきました！

12月12日(火)～16日(土)、人文科学コース2年生は「台湾交流研修」に行きました。この研修は国際性・英語での表現力を身につけることをねらいとしています。また、交流を通して、コミュニケーション能力や人間力の向上も目的としています。この5日間、生徒たちは様々なことを体験し、学び、そして、考える機会になりました。

### ○12月12日(火)台湾1日目

1日目は9時15分に小松空港に集合し、台湾へと出発しました。夕方に到着し、バスと新幹線を使い、台南に向かいました。到着して間もなく、異国情緒あふれる台湾を体感する生徒たちでした。



### ○12月13日(水)台湾2日目

2日目午前は台糖沙崙智慧綠能循環住宅園區を見学しました。台糖沙崙智慧綠能循環住宅園區とは、「台糖」という製糖の大企業が運営する環境に配慮した循環型社会・循環型建築などの研究施設です。生徒たちは国際性のある企業を目の当たりにすることで、将来に向けた視野を広げていました。



(生徒の感想)  
もっと広い視野から物事を考えられるようになりたいと思った。



2日目午後は現地の国立新營高級中學(高等学校)生徒と交流しました。新營高級中學の生徒たちは、ペアとなる本校生徒の名前が書かれたプラカードを持ち、笑顔で迎え入れてくれました。本校生徒が英語で課題研究の発表や日本と小松の紹介し、新營高級中學の生徒たちはダンスや歌などのパフォーマンスを披露してくれました。



(生徒の感想)

英語を話すことが少し怖かった。しかし、台湾の方々がとてもフレンドリーで、私も積極的に英語で自分をアピールしなければいけないと思うようになった。



(生徒の感想)

自分が思っているより英語で話すことが難しいと感じた。英語で話せるように勉強して、海外の人と英語の会話をもっと楽しんでみたいと思った。

初めは緊張した面持ちを見せていましたが、終わりには別れを惜しむ一幕も見られました。コミュニケーション能力とともに人間力も一回り成長させた生徒たちでした。

○12月14日(木)台湾3日目

午前にはB&Sプログラム(現地大学生とのグループ別研修)で總統府や中正記念堂、台北101などを回りました。午後は忠烈祠、九份を散策しました。台湾の文化を肌で感じた3日目となりました。

忠烈祠





### ○12月15日(金)台湾4日目

4日目午前はTSMC台積創新館、世界でも有数のシェアを誇る台湾の半導体メーカーの見学をしました。身のまわりの生活を支える半導体の重要性や使用者の要望に合わせて製品を作る企業の理念などを真剣な様子で聞いていました。



VRの世界を体験する生徒たちの様子  
視線の先には一体何が？



事前学習で学んだことを踏まえ、生徒たちは現地で実際に研修し、様々な学びを得ました。研修1日目の台糖沙崙智慧綠能循環住宅園區に引き続き、将来への視野を広げました。また、探究力を養うことができた台湾での企業見学でした。

4日目午後は最後の訪問地である故宮博物館に向かいました。



メモを取りながら見学をする生徒たちの様子が見られました。多様な過去や背景を持ちながら博物館に集まった展示物を見て、改めて台湾という国、台湾交流研修の日々に思いを馳せる生徒たちでした。

### 全体を通して(生徒の感想)

- ・海外では日本と常識や考え方が異なることを体感した。他の人の意見や多様な見方を取り入れて考えることが今後役立つのではないかと考えた。
- ・英語はある程度できるつもりでいた。しかし、B&Sプログラムで現地の大学生と英語で話した際、思うように聞き取れず、伝えたいことを十分に伝えられなかった。人とコミュニケーションを深めるための英語を学びたい。
- ・日本のよさを再認識した。  
日本についてもっと学びたいと思った。
- ・大学生になり、留学も楽しそうだと思いました。  
行きたい大学に行けるように勉強全般頑張りたいです。



12月16日(土)に小松に戻ってきました。

生徒たちは台湾交流研修で得た様々な経験を糧に、今後の生活をより豊かなものにしていきます。

### 今後の予定

- 1月16日 Jゼミ最終発表会
- 1月23日 NSH課題研究合同発表会